

株主の皆様へ

FUJI NIHON SEITO CORPORATION

第 **97** 期  
中間報告書

2019年4月1日 ▶ 2019年9月30日

 **フジ日本精糖株式会社**

証券コード：2114



## 企業理念

私たちは、「夢のあるたくましい会社」を目指し、健康な生活づくりに貢献します。

## 経営方針

- ① 顧客第一主義の徹底
- ② 会社の発展と共に社員が成長する企業文化の形成
- ③ 公正で透明性のある企業活動の推進
- ④ 社会に評価される企業価値の向上
- ⑤ 社会に貢献する企業市民活動の充実

### CONTENTS

トップインタビュー	.....	P 2
セグメント別の状況	.....	P 5
連結財務諸表	.....	P 7
会社概要/株式情報	.....	P 9
トピックス	.....	P10
インフォメーション	.....	裏表紙

### ● 表紙の写真について

表紙の写真は、当社「写真同好会」の辻田 和人が撮影した作品です。



撮影地 - 静岡市 吉原 - 「吊るし雲の朝焼け」

## トップインタビュー

### 環境変化を乗り越えるべく、中期経営計画を着実に遂行。

はじめに、このたび日本各地を襲った台風および豪雨により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。皆様の安全と被災地の一日も早い復旧・復興をお祈りいたします。

**Q** 当上半期の営業状況についてお聞かせください。

**A** 精糖事業における砂糖販売数量が伸びず減収となりましたが、利益面は期初の予想を上回り、増益を遂げました。

全体の売上高は、主力の精糖事業において販売数量が前年同期を下回り、減収となりましたが、利益面は砂糖原料コストを中心に製造コストの圧縮が進んだことに加え、営業外収益として、持分法投資利益の増加や為替差益を計上し、期初の予想を上回る形で増益となりました。

事業別に振り返りますと、精糖事業は、世界的な需給緩和による現物余剰感から海外原糖相場が軟調に推移する中、ゴールデンウィーク前の駆け込み需要の反動や長く続いた梅雨寒など天候要因を受けて、飲料や冷菓の荷動きが低調となりました。

機能性素材事業のうち、国内におけるイヌリン販売は、数量ベースで前年同期比25%増と堅調に推移しました。腸活や糖質オフなど、市場においてイヌリンの機能性が認知度を高めており、採用件数の増加につながっています。タイの連結子会社Fuji Nihon Thai Inulin Co., Ltd. (以下FTI社) によるイヌリン事業は、日本向け販売の増加に加え、タイ国内および周辺国への拡販により販売を伸ばし、業績が改善しました。タイ国内では、大手飲料メーカーにイヌリンが採用され、周辺国では、インドネシア、フィリピン、韓国などで成果を上げつつあります。

機能性素材事業に含まれる切花活力剤の販売は、前年同期並みで推移しました。また、連結子会社ユニテックフーズ株式会社においては、コラーゲン等の販売が伸び悩み、前年同期比で減収となりました。



代表取締役社長 櫻田 誠司

**Q** 中期経営計画初年度の始動状況をご説明願います。

**A** 四つの基本戦略にもとづく取り組みがスタート。3年後のステップアップに向けて着実に遂行します。

当社では、2022年3月期を最終年度とする3か年中期経営計画がスタートしました。本計画は、「非砂糖分野のさらなる拡大」「輸出入・三国間貿易による海外への挑戦」「社員教育の強化と新人事制度の導入」「ESG（環境・社会・ガバナンス）経営の推進」の四つを基本戦略に掲げ、業績目標として売上

高225億円、営業利益19億円、経常利益20億円、親会社株主に帰属する当期純利益14億500万円の達成を目指すものです。

計画初年度の立ち上がり状況を基本戦略ごとに述べますと、「非砂糖分野のさらなる拡大」では、連結子会社の協立食品株式会社を通じて、輸入食品原料の取り扱いを開始しました。ユニテックフーズ株式会社でも、従来の天然素材に加え、新たな機能性素材や品質改良剤の開発に着手しています。

「輸出入・三国間貿易による海外への挑戦」では、東南アジアでのイヌリン拡販に注力しています。FTI社は、タイ国内における拡販は自社で、タイ以外の地域では各国で起用した販売代理店を通じて展開していますが、将来的にはイヌリンだけでなく、他の食品素材も販売出来るネットワーク構築を目指しています。

「社員教育の強化と新人事制度の導入」では、来期の新人事制度導入に向けて、コンサルタントを起用した検討を進めています。社員教育の強化に向けた動きでは、会社を取り巻く環境の変化に応じて、外部研修の実施を予定しています。

「ESG経営の推進」では、引き続き環境方針にもとづき、事業活動における環境負荷の低減に取り組んでいます。また豊かな「食」を支える企業として、社会価値の提供を意識した取り組みを進めていく考えです。ガバナンス面では、より健全で透明性の高い経営を担保すべく、コーポレート・ガバナンスの強化に努めています。

今後、精糖事業を主とする当社のベース事業の環境は、一層厳しさを増していくでしょう。当社は本計画のもと、ベース事業を確実に維持しつつ、さらに機能性素材事業その他における新たな商品・素材の取り組みや新規ビジネスの開拓により、将来の成長機会を獲得してまいります。

**Q** 下半期の見通しと通期業績についてお聞かせください。

**A** より厳しい販売環境が続くと見込み、通期業績については、期初の予想数値を維持しています。

上半期の業績は、利益面において期初の計画を上回り、増益となりました。しかし前述の通り、持分法投資利益や為替差益の計上などの外的要因がこの増益に寄与している一方で、下半期は、より厳しい販売環境が見込まれ、物流費などのコストも増加すると予想しています。

これら現状を踏まえ、通期業績は、期初の予想数値を維持し、売上高205億円(前期比4.4%増)、営業利益13億円(同3.6%減)、経常利益14億円(同11.0%減)、親会社株主に帰属する当期純利益9億500万円(同176.1%増)を見込んでいます。

下半期は、砂糖販売の立て直しを図りつつ、イヌリンの国内

拡販を全速力で展開し、売上・利益の底上げに努めます。海外のイヌリンについては、提案シーズンである年末に向けて、積極的なアプローチを進めていきます。

**Q** 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

**A** 持続的な成長と企業価値の向上につながる新商品・新ビジネスの開拓に積極的にチャレンジします。

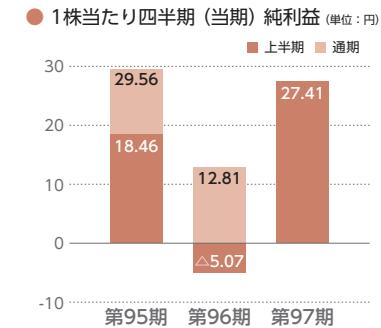
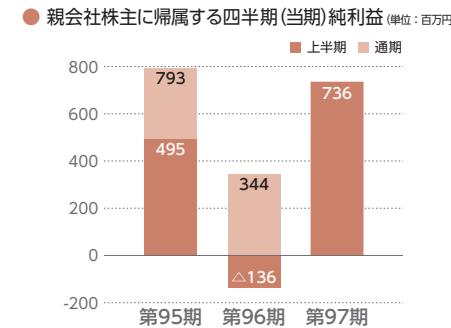
中期経営計画の目的は「事業環境の変化に柔軟に対応し、独自に成長を持続できる会社」への進化です。当社は今後、その進化に必要な提携・出資やM&Aを実施する考えです。「非砂糖分野のさらなる拡大」「輸出入・三国間貿易による海外への挑戦」にかかわる案件を適宜検討していきます。そして、持続的な成長と企業価値のさらなる向上につながる新商品・新ビジネスの開拓に積極的にチャレンジしてまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き当社事業へのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



連結業績ハイライト

CONSOLIDATED FINANCIAL HIGHLIGHTS





## 精糖事業

事業内容：精製糖、砂糖関連製品の製造販売を行っております。

### 当上半期の概況

売上高： 5,445百万円  
営業利益： 863百万円

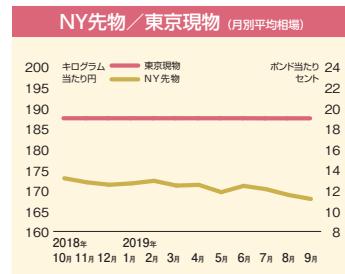
精糖事業につきましては、海外原糖市況は期初12.53セント（1ポンド当たり）で始まりましたが、前年までの世界的な供給過剰による在庫率の高さが材料視され、早々に12セント割れを記録しました。その後、主要生産国の天候不順による減産見通しにより再び12セント台に戻りましたが、現物の余剰感を引き続き解消されておらず、一方、長引く米中間の貿易紛争を始めとする世界的景気停滞感から反落し、当上半期末は11.92セントで終了しました。

期初	高値	安値	期末	平均
12.53	12.84	10.68	11.92	11.94

一方、国内製品市況は期初東京現物相場187円～188円（日本経済新聞掲載）で始まり、海外原糖相場の大きな値動きはなく、変わらずの187円～188円で当上半期末を迎えました。

製品の荷動きについては、10連休となったゴールデンウィーク前の駆け込み需要で期初は好調であったものの、その反動や長く続いた梅雨寒、突然の猛暑により、飲料関係を中心に低調に推移し、また加糖調製品や他甘味料等の影響もあり、販売数量は前年同期を下回りました。利益面では販売数量の減少が響き、減益となりました。

この結果、売上高は5,445百万円（前年同期比4.9%減）、営業利益は863百万円（同2.3%減）の減収・減益となりました。



## 不動産事業

事業内容：当社が所有する土地建物の賃貸およびその他不動産関連事業を行っております。

### 当上半期の概況

売上高： 307百万円  
営業利益： 254百万円

不動産事業につきましては、売上高は307百万円（前年同期比0.1%減）、営業利益は254百万円（同4.7%減）の減収・減益となりましたが、引き続き安定収益確保に貢献しました。



## 機能性素材事業

事業内容：機能性食品素材、食品添加物、切花活力剤等の製造販売、果実加工原料の販売を行っております。

### 当上半期の概況

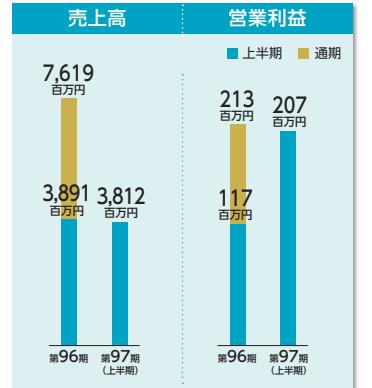
売上高： 3,812百万円  
営業利益： 207百万円

機能性素材事業につきましては、機能性食品素材イヌリンは、整腸作用、血中脂肪の低減効果、食後の血糖値の低減効果に関する3つの機能性を活用した機能性表示食品の新商品に採用されたことに加え、低糖質、腸活の需要により国内の販売が増加し、増収となりました。

切花活力剤「キープ・フラワー」につきましては、テレビCMの通年実施、業務用向け新製品の販売を実施し、概ね前年同期並みの売上高となりました。

連結子会社ユニテックフーズ株式会社は、主力製品であるコラーゲン等の販売が減少し、減収となりました。利益面では、タイの連結子会社Fuji Nihon Thai Inulin Co., Ltd.において、前第2四半期に減損損失を計上したことにより減価償却費の負担が軽減され、業績が改善いたしました。

これらの結果、売上高は3,812百万円（前年同期比2.0%減）、営業利益は207百万円（同75.9%増）の減収・増益となりました。



## その他食品事業

事業内容：タイ国においてパンの製造販売を行っております。

### 当上半期の概況

売上高： 95百万円  
営業損失： 31百万円

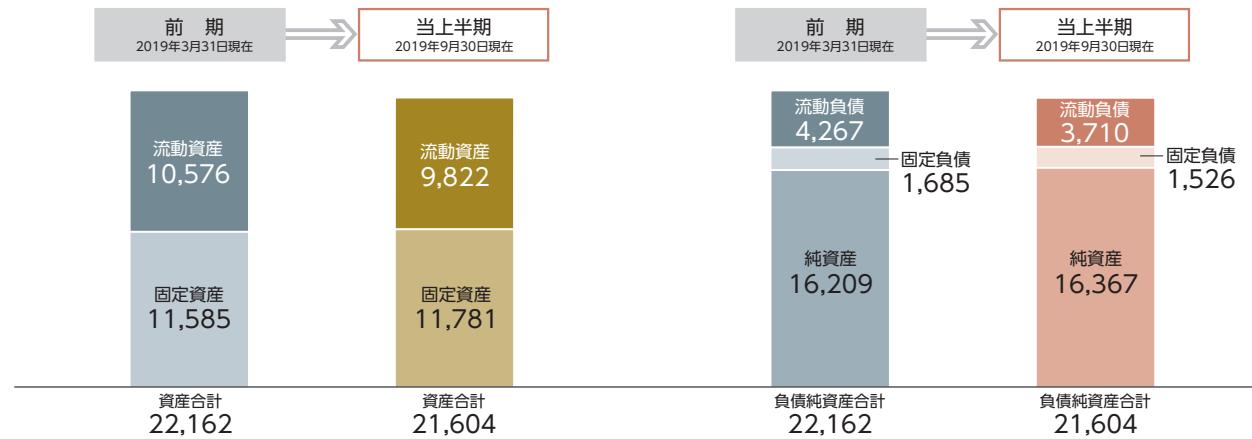
その他食品事業につきましては、タイでの食品関連事業が中心ですが、売上高は95百万円（前年同期比21.4%減）、営業損失は31百万円（前年同期 営業損失47百万円）の減収・増益となりました。



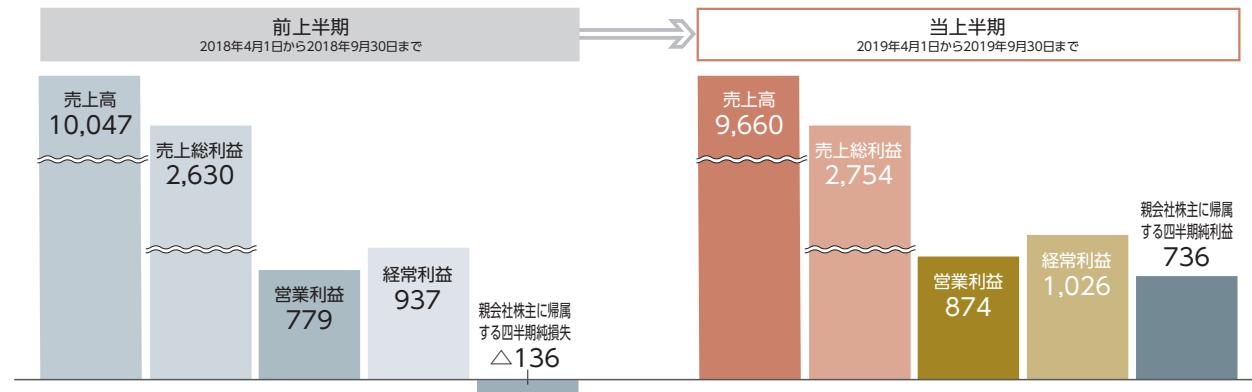
連結貸借対照表

● 資産の部 (単位: 百万円)

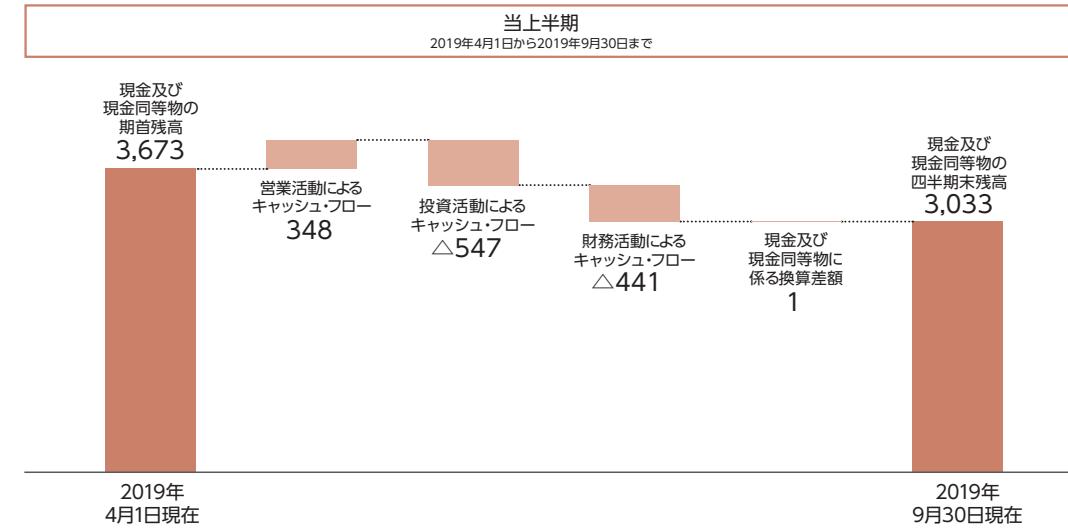
● 負債の部 (単位: 百万円)



連結損益計算書 (単位: 百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書 (単位: 百万円)



財務のポイント

● 資産

資産につきましては、流動資産で前期末に比べ7.1%減少し、9,822百万円となりました。これは主として現金および預金の減少等によるものであります。

また、固定資産につきましては、前期末に比べ1.7%増加し、11,781百万円となりました。これは主として投資その他の資産「その他」に含まれる長期貸付金の増加等によるものであります。

● 負債

負債につきましては、流動負債で前期末に比べ13.1%減少し、3,710百万円となりました。これは主として買掛金の減少、未払法人税等の減少等によるものであります。

あります。

また、固定負債につきましては、前期末に比べ9.4%減少し、1,526百万円となりました。これは主として長期借入金の減少等によるものであります。

● 純資産

純資産につきましては、前期末に比べ1.0%増加し、16,367百万円となりました。これは主として親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加等によるものであります。

会社概要

商号	フジ日本精糖株式会社
英文名	Fuji Nihon Seito Corporation
設立	1949年(昭和24年)7月
資本金	1,524百万円
従業員数	59名
本社所在地	〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町一丁目4番9号 電話 03(3667)7811(代表)
清水工場	〒424-0924 静岡県静岡市清水区清開一丁目4番10号 電話 054(334)5353(代表)
横浜共同生産工場	太平洋製糖株式会社 〒230-0053 神奈川県横浜市鶴見区大黒町13番46号 電話 045(501)0511(代表)
子会社	協立食品株式会社 ユニテックフーズ株式会社 Fuji Nihon Thai Inulin Co.,Ltd. FUJI NIHON (Thailand) Co.,Ltd. DAY PLUS (THAILAND) Co.,Ltd. UNITEC FOODS KOREA Co.,Ltd.
関連会社	太平洋製糖株式会社 マ・マーマカロニ株式会社 南栄糖業株式会社

役員

代表取締役会長	船越 義和
代表取締役社長	櫻田 誠司
取締役専務執行役員	櫻田 礎久
取締役執行役員	木船 亨
取締役	村上 光廣
取締役	前田 馨
取締役	菊地 正男
常勤監査役	福田 弘
監査役	上平 徹
監査役	坪 好教

執行役員

常務執行役員	小島 康克
上席執行役員	大口 真央
上席執行役員	関根 郁也
執行役員	和田 正
執行役員	吉水 あつ子

監査法人

会計監査人 有限責任監査法人トーマツ

株式の状況

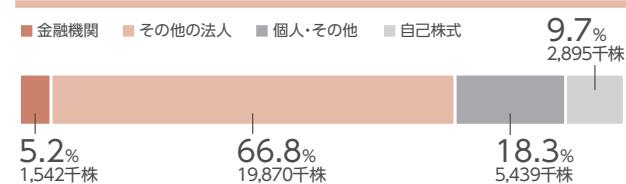
発行可能株式総数	110,000,000株
発行済株式の総数	29,748,200株
株主総数	15,525名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
双日(株)	8,153	30.4
豊田通商(株)	2,459	9.2
鈴与(株)	1,902	7.1
和田製糖(株)	1,226	4.6
(株)静岡銀行	792	3.0
(株)榎本武平商店	758	2.8
小倉運輸(有)	669	2.5
新潟県砂糖卸荷受商業協同組合	600	2.2
(株)サカタのタネ	563	2.1
東京海上日動火災保険(株)	447	1.7

(注) 持株比率は自己株式(2,895千株)を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



比較チャート (2018年10月1日を基準日とした当社株価と日経平均株価の騰落率)



# ○展示会レポート Fi Asia2019 (バンコク) に出展

9月11日~13日の3日間、タイのバンコクで開催された食品原料・素材の国際展示会「Fi Asia2019」に、当社「イヌリン」を出展しました。

Fi Asiaは毎年開催規模を拡大しており、出展社数と来場者数が年々増えてきています。急成長するASEAN地域をターゲットとする人にとって最重要となる展示会となっています。また、展示会には世界中の業界の専門家が集まり、この地域の最新のトレンドと開発を調査しており、世界規模でビジネスを展開する絶好の機会となっています。

当社はタイ国内でのイヌリン販売をはじめ、東南アジア諸国でも本格的にイヌリンの輸出を開始しています。今回の出展で当社イヌリンのさらなる知名度の向上と新規顧客獲得に繋げることができました。

今後も日本市場のみならず、アジア周辺国における新規顧客獲得のために、積極的に当社イヌリンのPRを行ってまいります。



## ホームページのご案内



当社のホームページでは、IR情報や商品情報、社会貢献活動などさまざまな情報を掲載しており、ネットショッピングもお楽しみいただけます。また、パソコンだけでなくスマートフォンやタブレットからも閲覧しやすいレイアウトになっておりますので、是非ご覧ください。当社は今後もウェブサイトの速報性を活かし、お客様・株主様にさまざまな情報を発信してまいります。

フジ日本精糖

<https://www.fnsugar.co.jp/>



## 株主優待品について

毎年3月31日現在で当社株式をご所有の株主の皆様  
に、所有株式数に応じた自社製品詰合せを毎年6月に  
贈呈しております。

100株以上	1,000円相当の自社製品
1,000株以上	3,000円相当の自社製品



1,000円相当の自社製品例



3,000円相当の自社製品例

## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
基準日	3月31日 なお、中間配当を行う場合は9月30日
定時株主総会	毎年6月開催
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場取引所	東京証券取引所
公告方法	当社のホームページに掲載いたします。 公告掲載URL <a href="https://www.fnsugar.co.jp">https://www.fnsugar.co.jp</a> (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない 事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。)

### 【お知らせ】

- (1) 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2) 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店にてお取次ぎいたします。
- (3) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

 フジ日本精糖株式会社

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町一丁目4番9号  
TEL : 03-3667-7811 <https://www.fnsugar.co.jp/>

**UD  
FONT**

見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。



環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用しています。